

グラフで見る東海経済(2021年2月)

2021年2月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

【今月のポイント】

- 輸送機械の減少が影響し、生産、輸出が足踏み状態となっている。年度内は足踏みが続くが、その後は再び持ち直しが見込まれる。
- 賃金(11月)は、5ヶ月ぶりに前年比で増加となったが、基調は弱い。
- 雇用、所得環境に弱い動きがみられる中、個人消費は持ち直している。

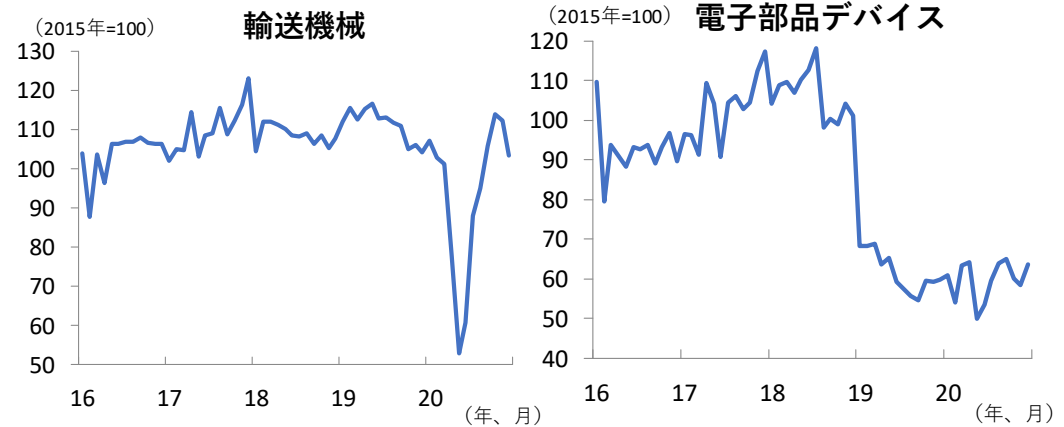
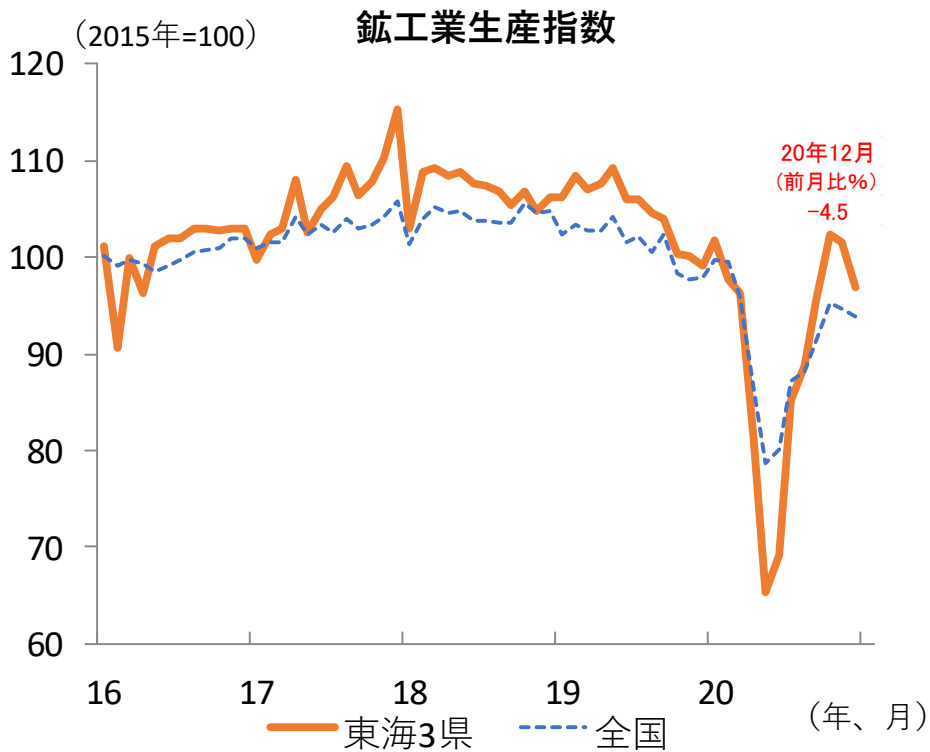
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	足踏み状態(↓:持ち直している)
輸出	足踏み状態(↓:持ち直している)
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	弱い動きとなっている(↑:減少している)
個人消費	持ち直している
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

注: ()内は前月からの変化の方向と前月判断

生産

鋳工業生産(東海)は足踏み状態。12月は前月比-4.5%と2ヶ月連続で減少した。

電子部品デバイスが増加する一方、輸送機械が2ヶ月連続で減少、汎用・生産用・業務用機械、電気機械が減少に転じた。

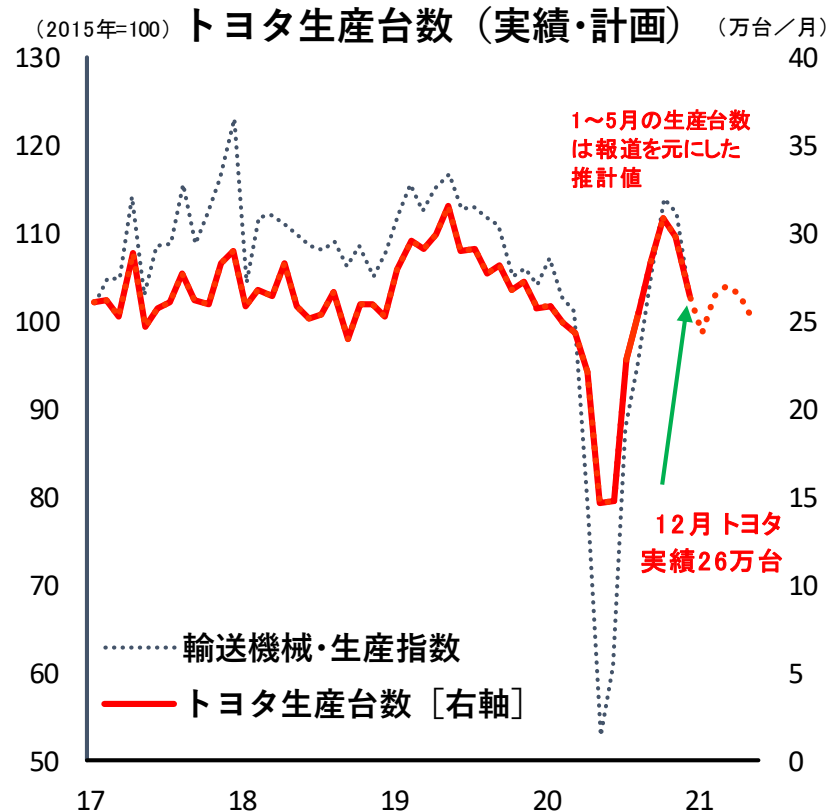


(出所) 経済産業省「鋳工業生産動向」

生産（トヨタ生産計画、金属工作機械）

12月のトヨタ生産台数（弊社季節調整値）は26万台と前月から減少した。年度内は10月をピークに生産水準を低下させるが底堅い推移が見込まれる。

12月の金属工作機械受注は、前年比+4.4%と2ヶ月連続で前年を上回った。国内向けは同一-3.5%と減少が続いたが、海外向けが同+8.4%と増加した。米国向けは減少に転じたが、中国向けが倍増した。



金属工作機械受注



(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県
(出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

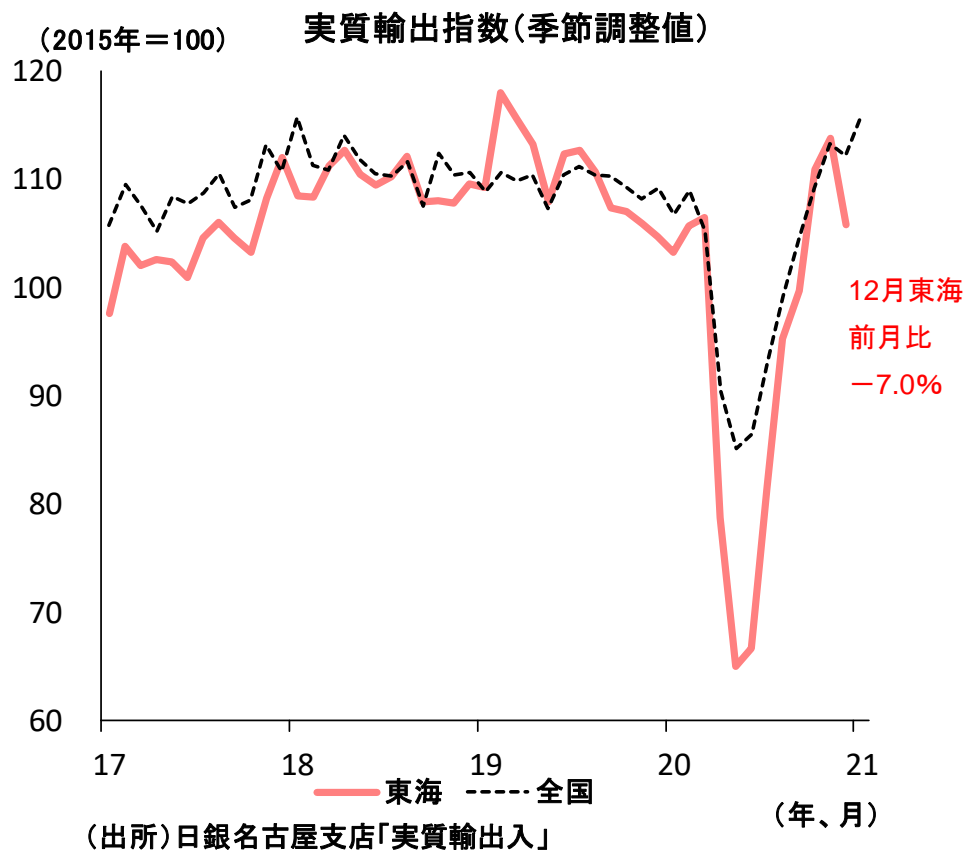
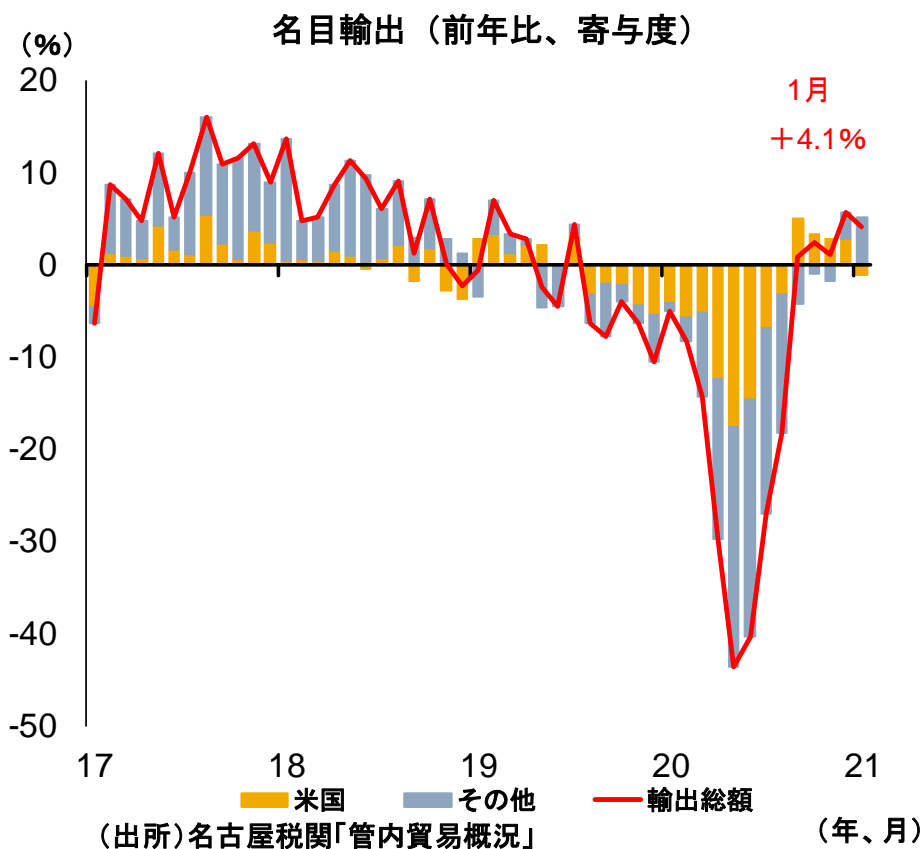
(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

(年、月)

輸出

1月の名目輸出額は前年比+4.1%と5ヶ月連続で増加した。米国向けが5ヶ月ぶりに減少したが、アジア向けが2ヶ月連続で増加。業種別では、自動車が増減となったが、半導体電子部品、プラスチックなどが増加した。

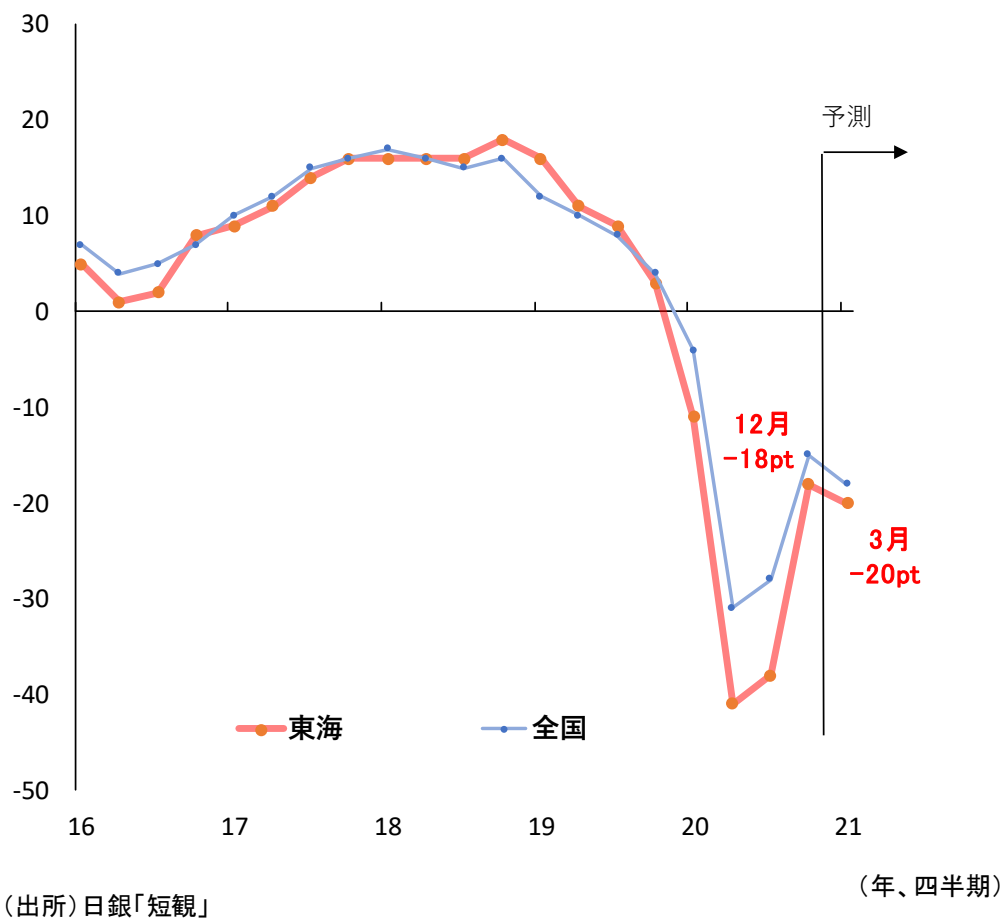
12月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比-7.0%と7ヶ月ぶりに減少した。



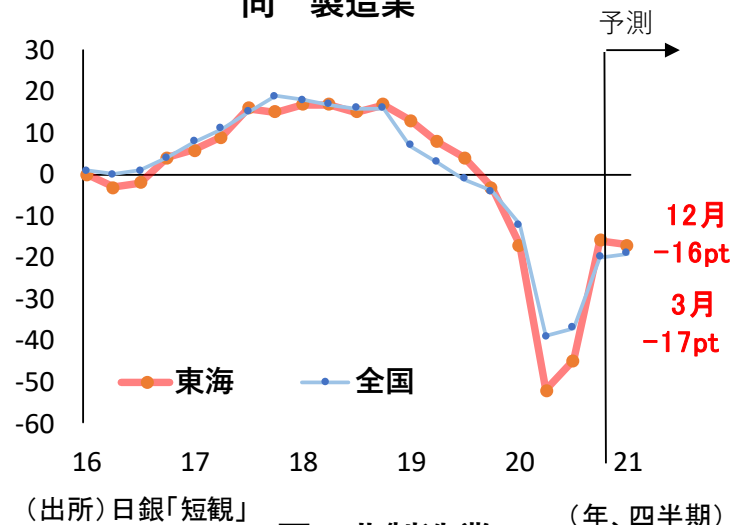
企業景況感(日銀短観) ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査の業況判断DIIは全産業で-18ptと改善した。製造業は-16pt、非製造業が-19ptと改善した。先行きは、製造業、非製造業ともに小幅悪化が見込まれている。

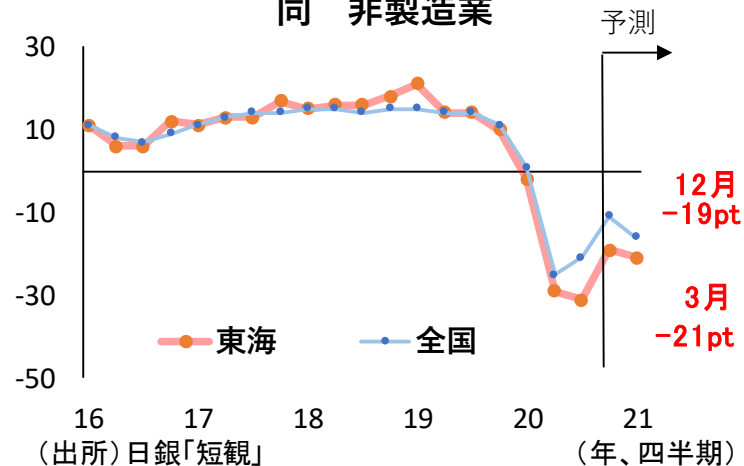
短観 業況判断DII「全産業」



同 製造業

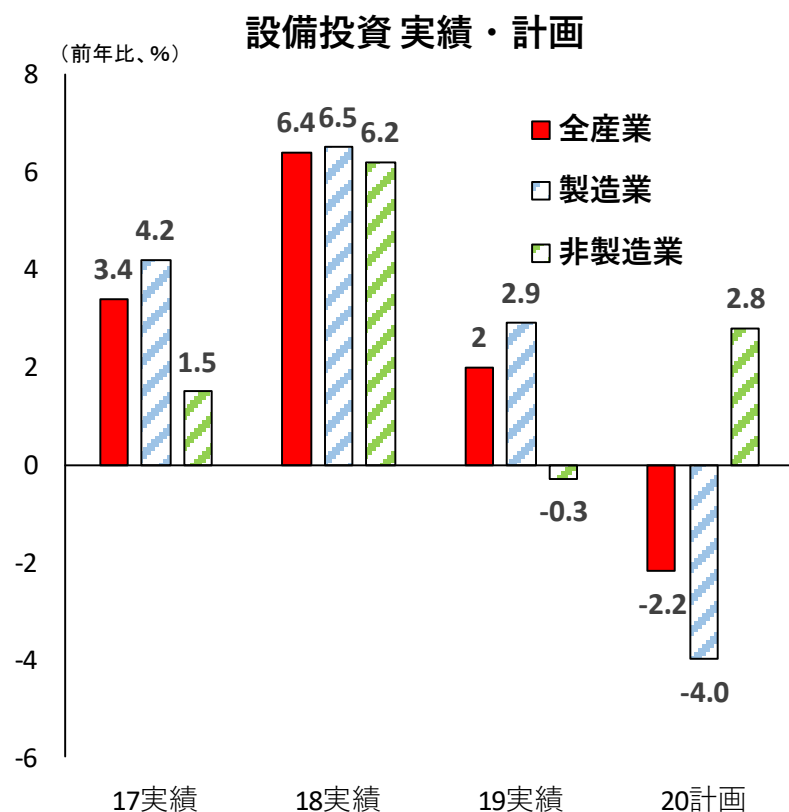


同 非製造業



設備投資 ※以下は12/14公表の12月調査。3月調査は4/1公表予定

日銀短観12月調査によると、20年度の設備投資計画は、非製造業が前年比+2.8%と下方修正ながら増加を見込む一方、製造業は同一-4.0%と下方修正かつ減少を見込む。不動産、小売が大幅増、非鉄金属、その他輸送用機械が大幅減の計画。全産業では同一-2.2%と9月調査から下方修正となった。



設備投資額 (前年比%)

	19年度 実績	20年度 計画		
		今回	9月調査時 [差異]	
全産業	2.0	-2.2	-1.3	-0.9
製造業	2.9	-4.0	-2.9	-1.1
非製造業	-0.3	2.8	3.4	-0.6

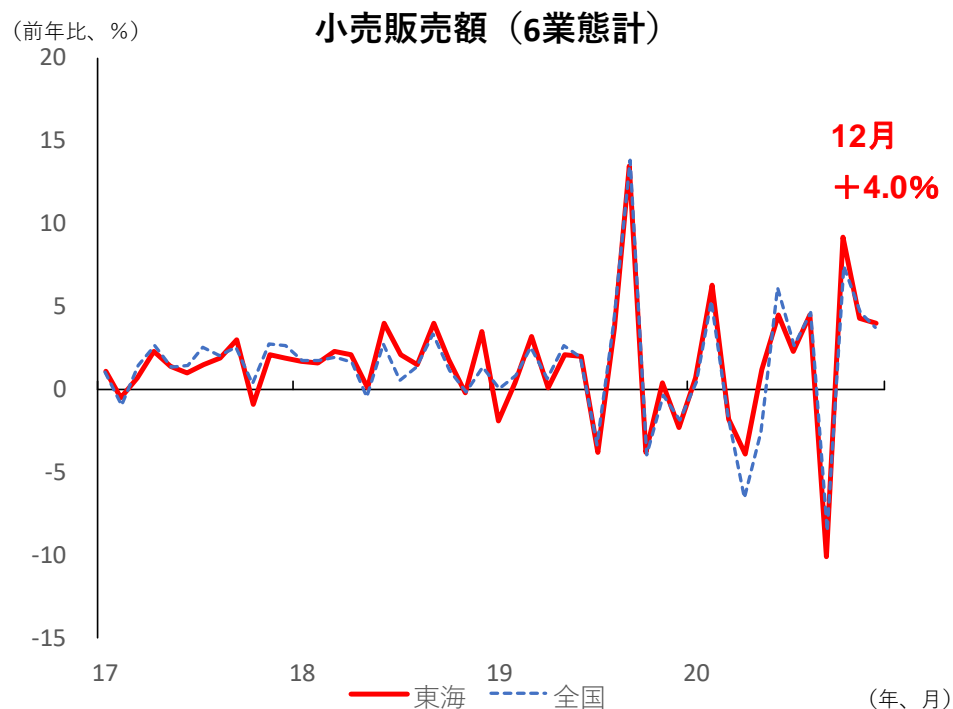
(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

個人消費(小売売上、自動車販売)

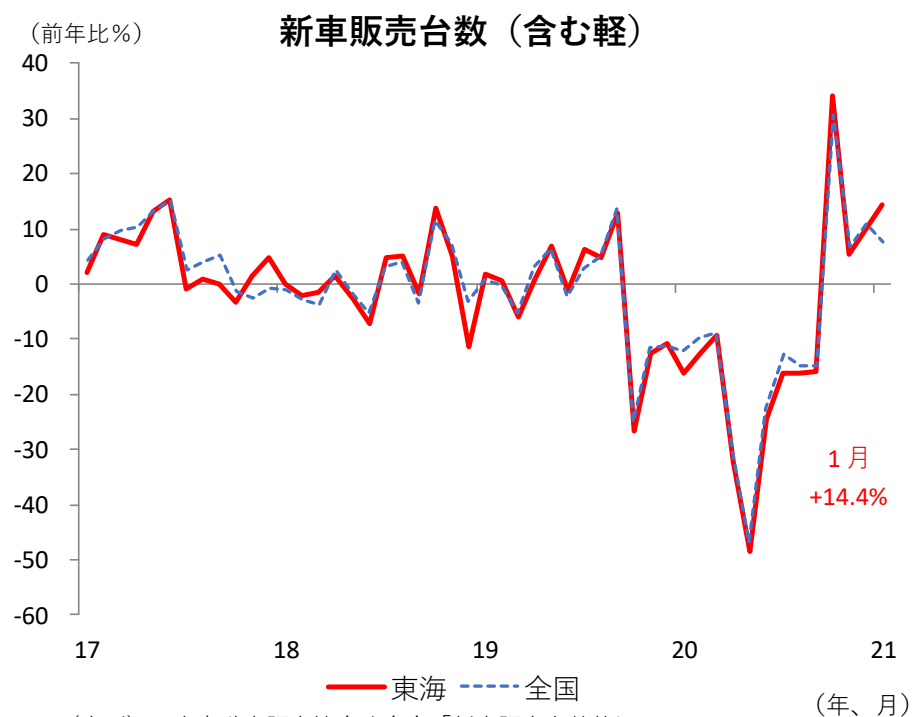
12月の小売販売額は前年比+4.0%と3ヶ月連続で増加した。

1月の新車販売は前年比+14.4%と4ヶ月連続で増加した。普通車、軽自動車が前月に続き2桁増となり、小型車も増加に転じた。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

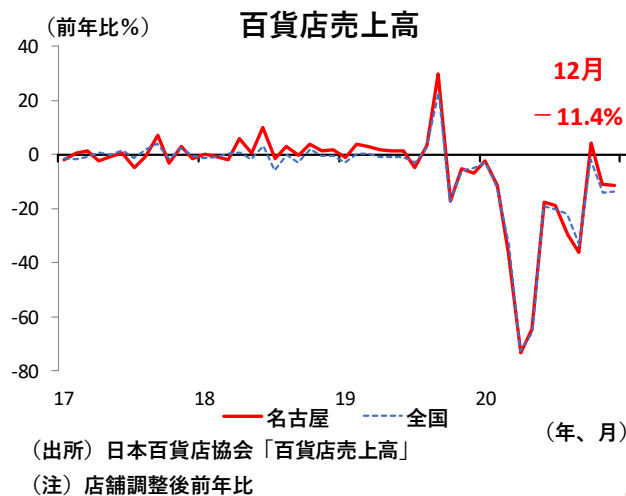
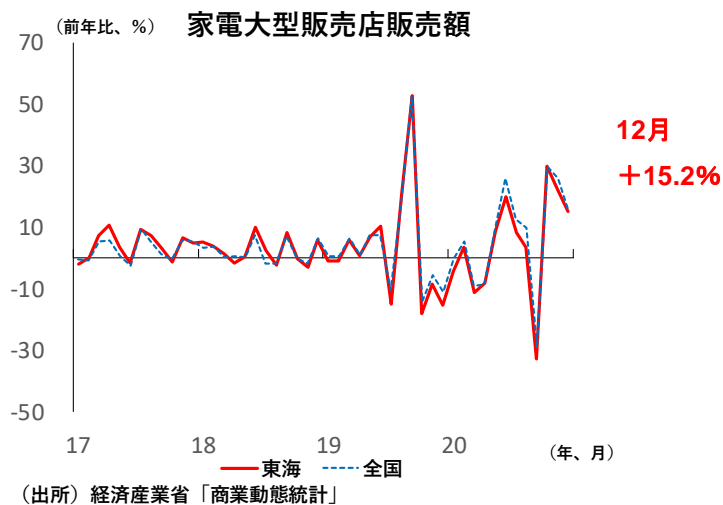
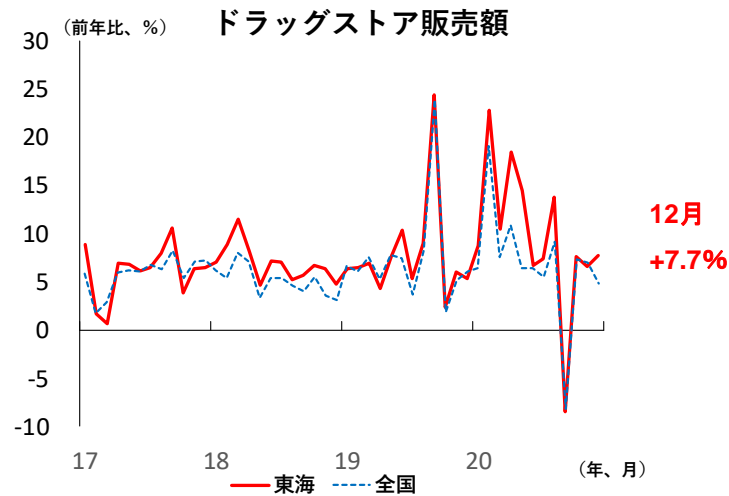
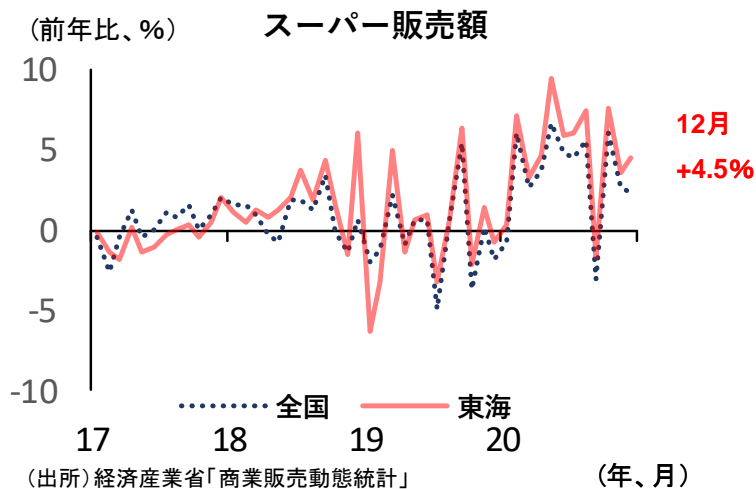


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

小売販売額を業態別に見ると、百貨店、コンビニは減少、スーパー、ドラッグストアは増加した。
 12月の百貨店販売(名古屋)はコロナ感染再拡大などが影響し、前年比-11.4%と2ヶ月連続で減少した。



マインド・景況感

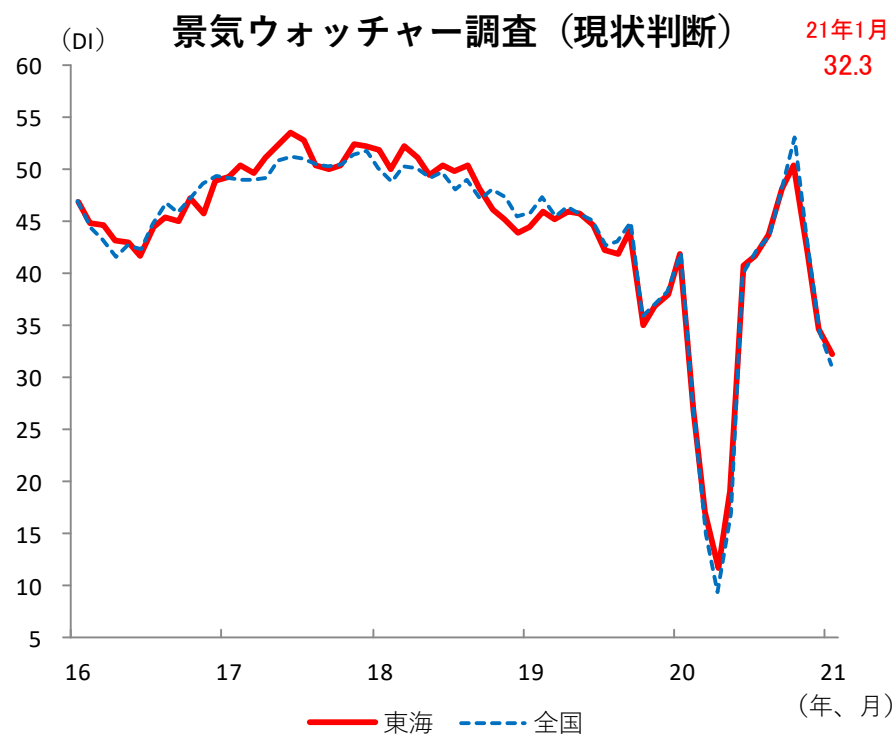
1月の消費者態度指数は29.3(前月差-0.6%pt)と2ヶ月連続で低下した。

1月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、新型コロナウイルス第3波拡大による緊急事態宣言再発令が影響し、32.3(前月差-2.4%pt)と3ヶ月連続で低下した。



(注)東海の季節調整値はMURC試算

(出所)内閣府「消費動向調査」



(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

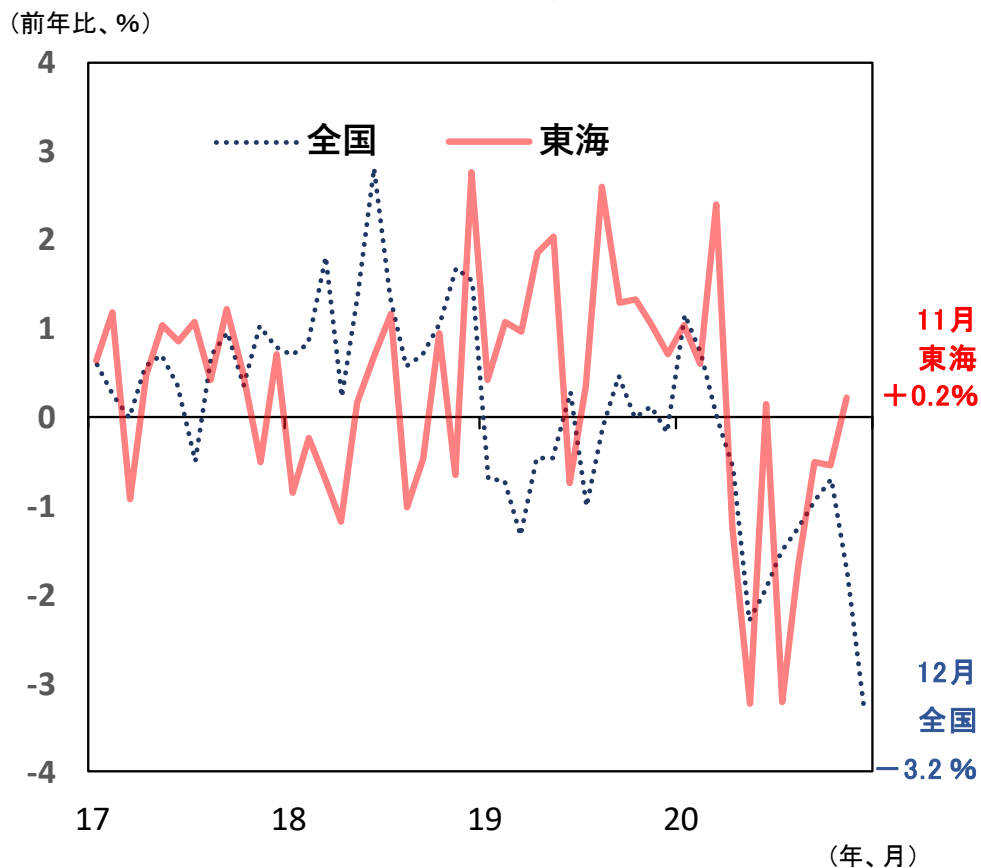
賃金・雇用

11月の名目賃金指数は、前年比+0.2%と5ヶ月ぶりに上昇(愛知、三重が上昇、岐阜は低下)。

12月の求人倍率は1.09と前月とほぼ同水準。

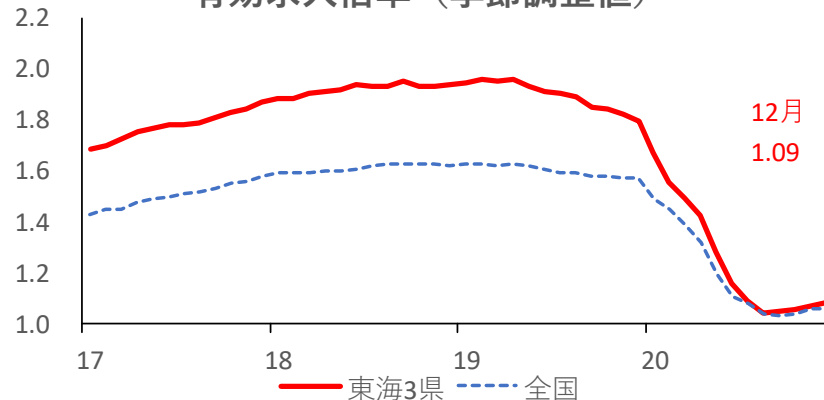
20年第4四半期の失業率は2.5%と4四半期ぶりに低下。就業者数は2四半期ぶりに減少した。

賃金上昇率



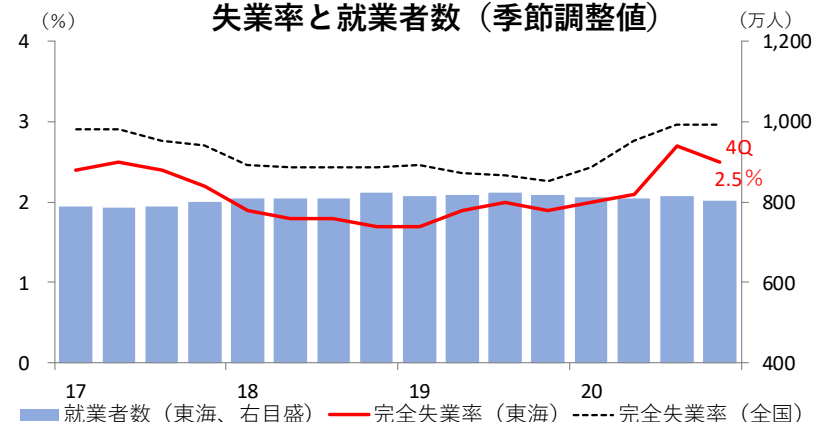
(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

有効求人倍率(季節調整値)



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」

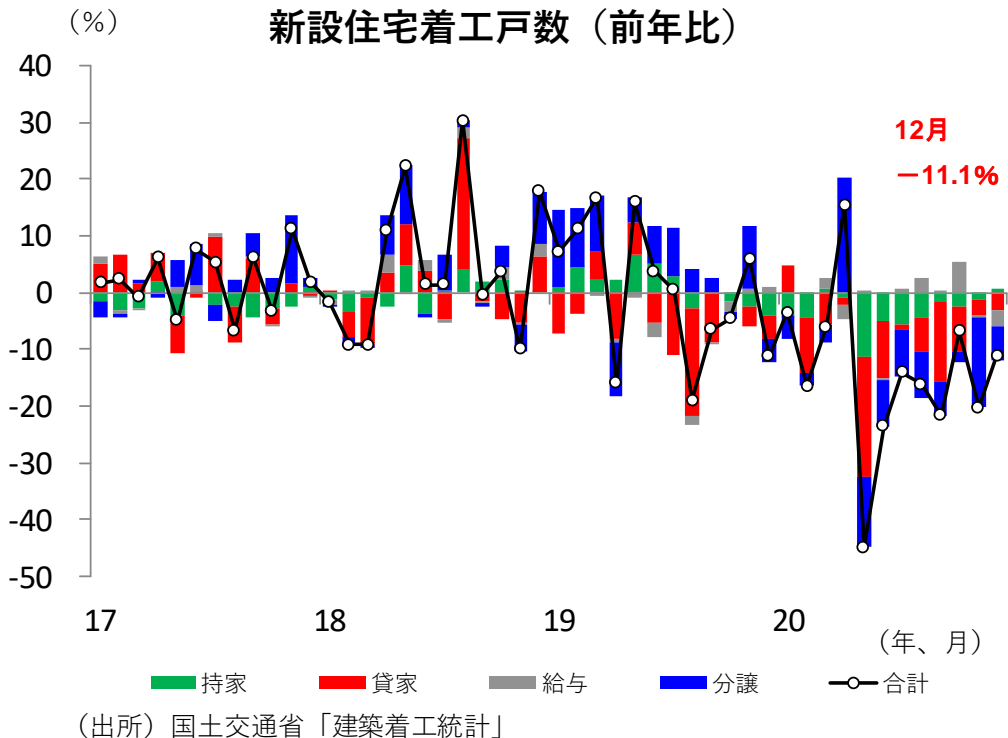
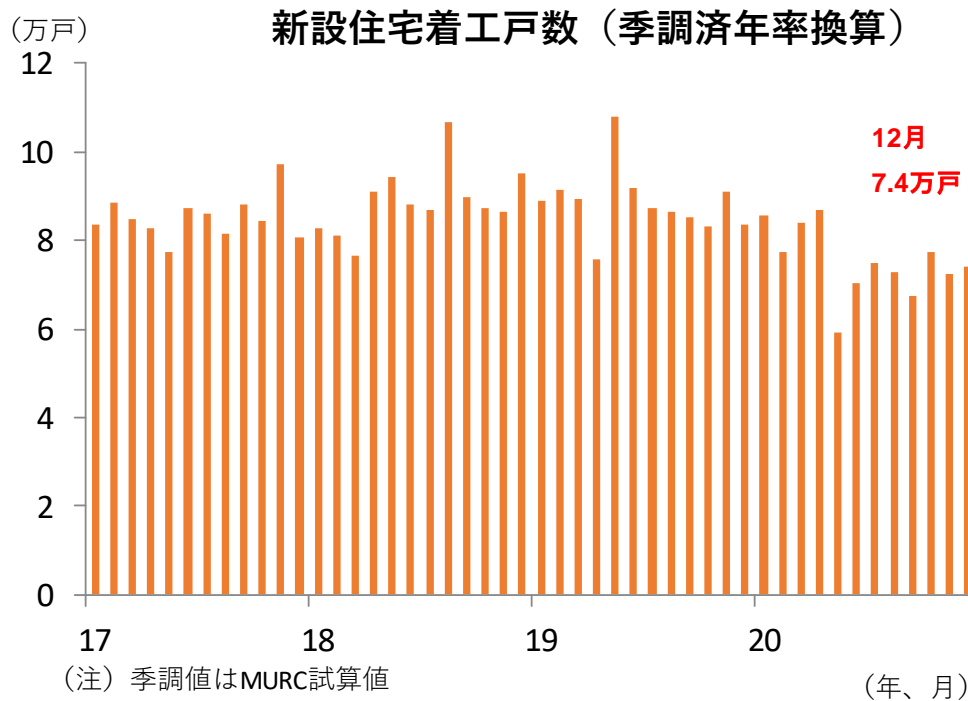
失業率と就業者数(季節調整値)



(出所) 総務省「労働力調査」

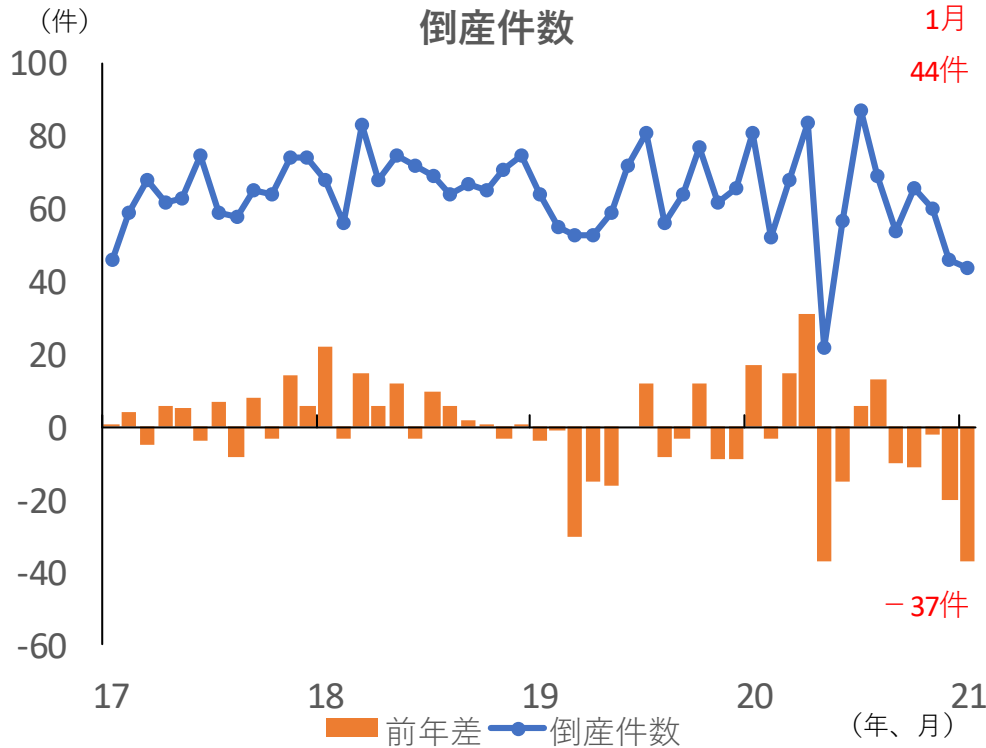
住宅投資

住宅着工は均してみると弱含み。12月は季調・年率で7.4万戸と2ヶ月ぶりに前月比で増加したが、原数値では前年比-11.1%と8ヶ月連続で減少。持家は増加したが、貸家、分譲が減少した。



倒産

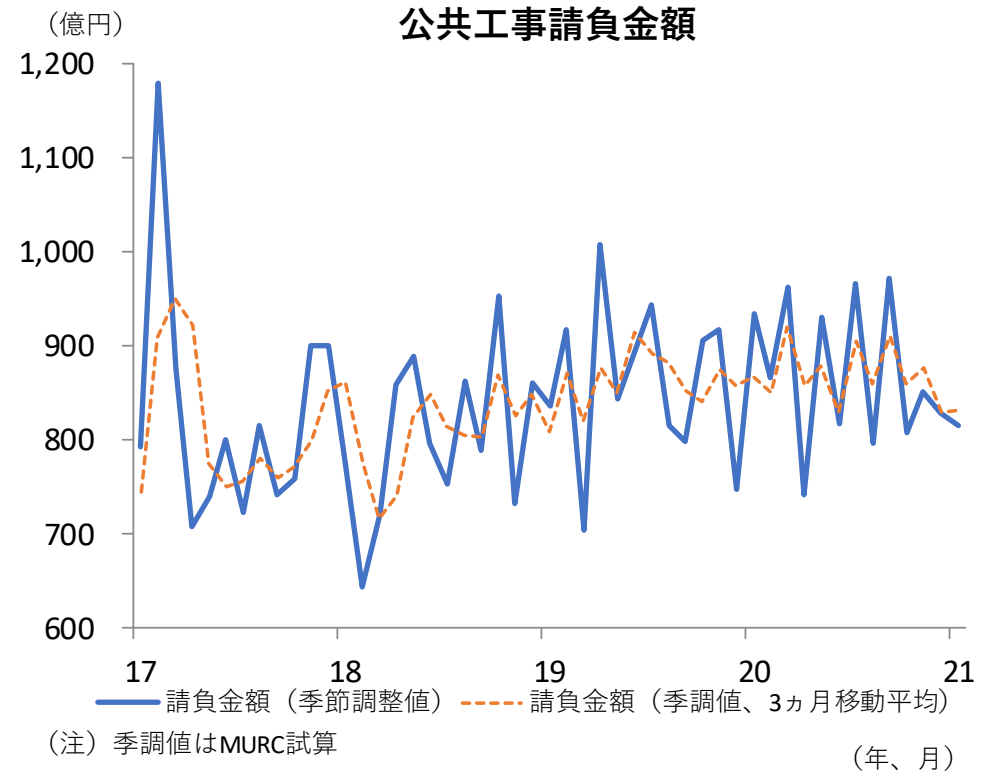
1月の倒産件数は前年比で5ヶ月連続で減少。
件数は、低めの水準で推移している。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください